



きょうちょうせい？

きょうどうせい？

今回は、協調性と協働性の違いについて考えます

協調性や協働性は、風通しの良い職場関係を構築していくためには重要です

また、同僚性を育てていくためにも重要な要素です

「協調性」と「協働性」

「協調性」はよく耳にする言葉ですが、似た言葉で「協働性」という言葉があります。学習指導要領の中でも「協働的な学び」として「協働」という言葉が出てきますよね。

この「協調性」と「協働性」は似た概念のように見えますが、実際には**焦点や目的に微妙な違い**があります。

似て非なるもの

「協調性」と「協働性」の特徴を簡潔にまとめると下の表になります。

項 目	協 調 性	協 働 性
重視すること	周囲との調和、足並みを揃えること	個々の能力の発揮、対等な協力関係
関係性	上下関係や役割分担がある場合でも成立	対等な立場であることが前提
主体性	与えられた役割の中で行動することが多い	各々が主体的に考え、行動する
目指す成果	円滑な作業遂行	より質の高い、創造的な成果

「協調性」は「良い人間関係を築く力」を、「協働性」は「共に目標を達成する力」に重点がおかれています。つまり、協調性は「人間関係の調和」、協働性は「成果を上げるための実質的な協力」に主眼が置かれています。

職場における「協調性」と「協働性」

「協調性」「協働性」はどちらも社会生活や組織活動において必要とされる要素ですが、目的や状況において適切に活用していくスキルが必要です。「協調性」は、職場の人間関係を円滑にしていくために重要な要素であり、「協働性」は職場における目標を達成するために個々の力を最大限に引き出すための重要な要素と言えます。どちらも重要な要素になりますが、バランスが崩れると職場環境に悪影響となる可能性があります。

まとめ

「風通しの良い職場」と聞くと、同僚の仲がよく、コミュニケーションが活発な職場を想像すると思います。もちろんそれは良いことですが、「協調性」だけを重視してしまうと馴れ合いやなまなまの関係が生まれ、共通の目標に向かって相互で高め合い、共に働くことができなくなってしまう。

本当の意味での「風通しの良い職場」は、単なる調和ではなく、共通の目標を達成するために、**主体的に他者と協力して成果を生み出していく**「協働性」を重視した職場である必要があります。他者との円滑な人間関係を構築していくことも重要ですが、全員が共通の目標をもち、その目標を達成するためにそれぞれの立場で対等な関係性で活発なコミュニケーションを取っていくことが大切だと考えます。

みんなが同じ目標に向かっていけば、きっと大丈夫。恐れず自分の考えを伝えていきましょう。